2019年02月12日　担当：武田

Angiotensin–Neprilysin Inhibition in Acute Decompensated Heart Failure  
N Engl J Med. 2019 Feb 7;380(6):539-548.   
  
急性非代償性心不全で入院した駆出率低下を伴う心不全患者881例を対象に、  
アンジオテンシン受容体-ネプリライシン阻害薬（ARNI）であるサクビトリル・  
バルサルタン合剤の安全性および効果を検討した、PIONEER-HF試験である。  
その結果、合剤群（440例）ではNT-proBNPの平均低下度がエナラプリル群  
（441例）に比べて有意に大きく、4および8週時の平均値の対ベースライン比は  
合剤群0.53、エナラプリル群0.75だった(p<0.001)。腎機能低下、高カリウム血症、  
症候性低血圧、血管性浮腫の発生率に有意差はなかった。